

# 腹腔鏡下手術を受けられる方へ

## 1. 腹腔鏡下手術とは

お腹に数か所の小さな穴（2～4か所）をあけ、炭酸ガスを入れてお腹の中を膨らませてスペースを作り、そこからスコープや器具を入れて手術を行う方法です。



腹腔鏡下手術の様子

腹腔鏡下手術後の傷（4箇所）

12 mm前後の穴が2箇所、5 mm前後が2箇所（基本）

## 2. 腹腔鏡下手術のメリット

腹腔鏡下手術は開腹手術と比較し以下のような特徴があります。

1. 手術の傷が小さく美容的
2. 術後の痛みが軽い
3. 入院期間が短い（早く退院できる）
4. 早期の社会復帰
5. 術後の癒着が少ない（卵管などの癒着が起こり難く、術後不妊症になることが少ない）

しかし、腹腔内の状態や手術の難易度により以下の留意点があります。

1. 開腹手術への移行：腹腔鏡下手術が安全に行えないと判断した場合
2. 輸血：術中・術後に予期しない出血があった場合  
（全症例で術前に輸血の同意書をいただきます）
3. 最終診断は術後の組織検査で確定：術前診断と異なる場合、開腹手術が必要になる可能性
4. 他臓器の損傷：隣接臓器である尿管や膀胱、直腸の損傷  
（子宮内膜症などで高度な癒着がある場合）

### 3. 腹腔鏡下手術以外の治療の選択肢

1. 良性卵巣嚢腫： 経過観察、開腹手術
2. 子宮内膜症： 経過観察、開腹手術、ホルモン療法
3. 子宮筋腫： 経過観察、開腹手術、子宮動脈塞栓術（UAE）、  
集束超音波治療（FUS）
4. 不妊症： 体外受精など
5. 子宮外妊娠： 開腹手術、薬物療法

### 4. 入院期間、費用

原則として入院期間は5泊6日（手術前日入院、術後3日目退院）ですが、手術の状況や術後の経過に応じて延長となる場合があります。手術はすべて健康保険が適応され、手術の種類により費用は異なりますがおおよそ40～80万円で、その3割が自己負担となります。（高額療養費の検討が可能です）

### 5. 入院後のスケジュール

入院	手術	術後1～3日目	術後4日目
問診、シャワー	朝：点滴 麻酔：全身麻酔	朝：採血 膀胱カテーテル抜去 ドレーン抜去 食事開始	退院

（症例に応じて手術前日夜、当日朝に浣腸を行う場合があります）

※術中の所見により入院期間が延長することがあります。また、症例に応じて採血やレントゲン、診察、治療が追加される場合があります。

### 6. 術後の診療について

当院での外来経過観察を行います。かかりつけ医へ逆紹介となることもあります。ご理解をお願いします。

上記の内容について、外来担当医より説明を受けました。

署名： \_\_\_\_\_